第6章　環境・自然 第2節　みどりの保全・公園の整備

所属名称	事務事業名称	事業概要（全体）	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績（H30）	成果指標			総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
みどり自然課	実施計画ランク 重要 みどりの基本計画推進事業 期間 H21年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 都市緑地法、ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例 事業の目的及び具体的な内容 「所沢市みどりの審議会」において、みどりの基本計画に基づく施策や事業の進行管理を行うことにより、みどりの保全や創出に係る施策や事業等の推進を図る。	一般	H29予算現額 379千円 H29決算額 209千円 H30予算現額 231千円 H30決算額（見込み） 177千円 H29正規職員人件費 1.05 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 8,909千円 臨時職員 0.00 人 H30正規職員人件費 0.75 人 H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 6,285千円 臨時職員 0.00 人	項目名 ①みどりの審議会の開催回数 ②ゼネラルマネジャー幹事会の開催回数 実績 ①6回 ②2回	指標名 「みどりの基本計画」に掲げる重点プロジェクトの施策の実施数 R元年度以降の目標は、市域の保全配慮地区における地域制緑地の指定件数（拡大含） H29年度目標 31 H29実績 27 H30年度目標 31 H30実績 28 R元年度目標 1	目標設定の考え方・根拠 「みどりの基本計画」に掲げる重点プロジェクトの施策の実施数 R元年度以降の目標は、市域の保全配慮地区における地域制緑地の指定件数（拡大含） H30目標値が未達成の理由・分析 重点プロジェクトのうち、緑地協定等の地域緑化を新規に指定した地区の目標値は、該当する地区がなかったので、未達成となった。 駅前広場の緑化、パブリックガーデンの設置は、未達成となった。	A	「所沢市みどりの基本計画」 は、緑地の保全及び緑化の推進に関する措置を総合的かつ計画的に実施するために、 市が策定するものであり、事業を継続していく必要がある。 また、みどりの審議会において、みどりの基本計画に基づく施策や事業の進行管理を行うことにより、みどりの保全や創出に係る施策や事業の推進を図る。 評価者 みどり自然課長　奥村　稔	H30年度に改善した点 施策の実施状況の検証結果に基づき、今後の施策の実施、目標値の見直しについて検討したほか、施策の関係課に、県の補助事業を紹介し、事業推進を図った。 また、平成31年度からの新たな「所沢市みどりの基本計画」策定のための準備作業を行った。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 新たな「所沢市みどりの基本計画」策定のため、平成29、30年度で策定作業を行った。令和元年度以降は、新しい計画の下で施策目標の達成に向けて施策を進める。	有	無
みどり自然課	実施計画ランク 重要 緑地管理整備推進事業 期間 H6年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市市民の森設置要綱、所沢市市民緑地設置要綱 事業の目的及び具体的な内容 地域制緑地の指定をした緑地（市民の森等）や、市が買い入れや寄附によって取得した緑地の自然環境や植生、景観を将来に引き継ぐため、高木の剪定、不良木の伐採、除草等、適切な維持管理を行う。また、市民が安全にみどりと触れ合う場を提供するため、市民に公開している緑地の園内柵や外周柵の修繕等を行う。	一般	H29予算現額 36,536千円 H29決算額 36,332千円 H30予算現額 41,608千円 H30決算額（見込み） 40,832千円 H29正規職員人件費 1.45 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 12,303千円 臨時職員 0.00 人 H30正規職員人件費 1.65 人 H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 13,827千円 臨時職員 0.00 人	項目名 ①業者委託による剪定・伐採等の管理 ②みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理 ③市民参加による保全管理作業 実績 ①14.79ha ②19.55ha ③1.50ha	指標名 管理作業実施面積 H29年度目標 37 H29実績 35 H30年度目標 37 H30実績 35.8 R元年度目標 37	目標設定の考え方・根拠 業者委託による剪定・伐採等の管理面積＋みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理面積＋市民参加による保全緑地管理作業面積を指標とする。 H30目標値が未達成の理由・分析 年々増加している管理地に対して、委託費が追いついていないため。	A	年々緑地管理面積は増加傾向だが、管理予算は削減傾向にある。その中では上手くやりくりをし、管理してきた。 評価者 みどり自然課長　奥村　稔	H30年度に改善した点 パートナーの知識の底辺拡大の為、初級講座から中級講座に変更し技術の向上を図る。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 業者委託の予算が年々削られているので、直営による作業がかなり重要視される。 現状の管理地を現在の人数での管理は厳しいので、現業職の増員を要求している。	有	無
みどり自然課	実施計画ランク 最優先 里山保全地域等指定整備事業 期間 H24年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 都市緑地法、ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、ふるさと所沢の緑地の寄附に関する要綱 事業の目的及び具体的な内容 市内に残された貴重な緑地を保全し未来のこどもたちにふるさと所沢のみどりを継承するため、緑地保全制度の指定を行い、保全管理計画を策定する。 また、相続や開発等により消失の恐れがある緑地について、土地の取得（寄附受入を含む。）により、公有地化を行う。	一般	H29予算現額 152,278千円 H29決算額 151,681千円 H30予算現額 177,384千円 H30決算額（見込み） 175,715千円 H29正規職員人件費 1.15 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 9,758千円 臨時職員 0.00 人 H30正規職員人件費 0.85 人 H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 7,123千円 臨時職員 0.00 人	項目名 ①植生調査 ②みどりの公有地化 実績 ①0ha ②10,551㎡	指標名 重点プロジェクトにおける新たに指定した地域制緑地の面積（指定替え含む） R元年度以降の目標は、市域の保全配慮地区における地域制緑地の指定面積 H29年度目標 38 H29実績 45 H30年度目標 38 H30実績 69 R元年度目標 R10年度まで　110ha	目標設定の考え方・根拠 指定面積（平成22年度を基準年度として「0」とする） H30目標値が未達成の理由・分析 目標達成済み	S	「みどりあふれる持続可能なエコタウン」を目指すため、緑地保全制度の指定及び公有地化によるみどりの保全の取り組みを進める。 評価者 みどり自然課長　奥村　稔	H30年度に改善した点 緑地購入事務において、関係部署（関東信越国税局、埼玉県及び庁内関係課）と連携し事務を進めた。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 緑地購入地の増加により、緑地購入費も増加するため、予算拡大が必要となる。	有	無
みどり自然課	実施計画ランク 重要 保存樹木等指定促進事業 期間 H27年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市保存樹木等支援事業補助金交付要綱 事業の目的及び具体的な内容 市街地やその周辺のみどりの永続的な保全を図るため、保存樹木等に対する損害賠償責任保険への加入や保全管理費用の助成による所有者への支援を行う。また、保存樹木等の指定制度について市民に周知し、新たな保存樹木等の指定を行うとともに、市民の保存樹木等の保全に対する関心を高める。	一般	H29予算現額 5,209千円 H29決算額 2,123千円 H30予算現額 5,177千円 H30決算額（見込み） 1,958千円 H29正規職員人件費 0.85 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 7,212千円 臨時職員 0.00 人 H30正規職員人件費 0.70 人 H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 5,866千円 臨時職員 0.00 人	項目名 ①保存樹木の樹木管理推進事業 ②保存樹林の樹林管理推進事業 ③ふるさとの樹管理推進事業 実績 ①4本 ②2箇所 ③1本	指標名 ふるさとの樹の指定本数 H29年度目標 50 H29実績 33 H30年度目標 50 H30実績 33 R元年度目標 50	目標設定の考え方・根拠 本事業中、最も希少価値の高い、ふるさとの樹の本数を指標とした。 H30目標値が未達成の理由・分析 ・市街化地域及びその周辺区域と範囲が狭い事により、新規登録が厳しい、又、現在指定されている樹木も、高齢化により維持管理が厳しくなってしまっている事等による。	B	補助金制度については、所有者から一定の評価は頂いているが、実際の制度利用となると、本人の費用負担が大きい事等の事情により、予定数には至っていない。 評価者 みどり自然課長　奥村　稔	H30年度に改善した点 市内に業者登録のある造園業者に、保存樹木等の所有者へ支援事業制度の周知を依頼した。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 市街地にある、指定が掛かっていない樹木の調査を行い、保存樹木制度について更なる周知を図り、新規発掘を行う。	有	無

第6章　環境・自然 第2節　みどりの保全・公園の整備

所属名称	事務事業名称	事業概要（全体）	経費 会計	経費 投入コスト	成果 活動実績（H30）	成果 成果指標	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど 総合評価	評価 理由	現状の課題	環境影響 有益なもの	環境影響 有害なもの
みどり自然課	実施計画ランク 最優先 期間 H27年度～R3年度	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例 事業の目的及び具体的な内容 狭山湖や狭山丘陵の散策者及び観光客に、みどりの保全と創出の理解を促すとともに、散策者等が安全に周遊できるようにするため、散策路整備の一環として、狭山湖北東部に位置する緑地帯を縦断する市道5-4号線に景観に配慮した人道橋を整備する。	一般	H29予算現額 30,000千円 H29決算額 29,700千円 H30予算現額 1,697千円 H30決算額（見込み） 1,697千円 H29正規職員人件費 0.95 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 8,061千円 臨時職員 0.00 人 H30正規職員人件費 1.00 人 H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 8,380千円 臨時職員 0.00 人	項目名 ①電柱移設工事 ②建設工事 ③ 実績 ①1本 ②入札が2回にわたり不調・中止となったため発注できなかった。 ③	指標名 事業進捗状況率 H29年度目標 75 H29実績 75 H30年度目標 100 H30実績 55 R元年度目標 75	目標設定の考え方・根拠 平成30年度の完成までを100%とし、平成27年度から開始された事業なので、1年を25%として考える。 H30目標値が未達成の理由・分析 平成30年8月に実施した工事入札が、人員確保が困難なこと等を理由に業者が辞退したため不調となり、12月に実施した入札も、橋梁の主要材である鉄の不足等により中止となったことを受け、詳細設計を変更する必要が生じ、平成30年度中に工事発注ができなかった。	B	平成30年度中に建設工事に着工する予定だったが、工事入札が不調・中止となり、年度内の工事の発注ができなかったことから、工事の支障となる電柱1本の移設工事を実施した。 今後は、令和元年度に詳細設計の変更を行い、令和2年度に工事着工する予定で進めていく。 評価者 みどり自然課長　奥村　稔	H30年度に改善した点 橋梁の主要材である鉄の不足等により、入札が中止になったことを受け、令和元年度中に詳細設計を変更し、令和2年度中に工事着工予定である。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 詳細設計の変更にあたっては、材料の入手の可能性や金額等を考慮し鉄以外の構造とすること等を検討するとともに、市況調査を行い、令和2年度に本体工事に着工したいと考えているが、なるべく早い工事の開始を目指し、令和元年度中の発注についても模索したい。	有	無
みどり自然課	実施計画ランク 優先 期間 H30年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例 事業の目的及び具体的な内容 公共施設を率先して緑化し、暑さ抑制を図ると共に、「街中のみどり」を積極的に創出していくため、日常子供たちが過ごしている園庭・校庭の一部を芝生化するものである。	一般	H29予算現額 0千円 H29決算額 0千円 H30予算現額 328千円 H30決算額（見込み） 323千円 H29正規職員人件費 0.00 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 0千円 臨時職員 0.00 人 H30正規職員人件費 0.60 人 H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 5,028千円 臨時職員 0.00 人	項目名 ①芝生化実施園数 ② ③ ①1園 ② ③	指標名 芝生化実施面積 H29年度目標 — H29実績 — H30年度目標 160㎡ H30実績 176㎡ R元年度目標 170㎡	目標設定の考え方・根拠 まちなかのみどりを創出することを目的としていることから、芝生化した面積を指標とする。 H30目標値が未達成の理由・分析 目標達成済み	A	新規事業のため、保育園側のスケジュール調整等が間に合わなかったこと、芝生が根付くまでの間園庭を使えないこと等の理由から、実施できる園が新所沢保育園のみとなったが、市街地のみどり創出に向け取り組みを進めていく。 評価者 みどり自然課長　奥村　稔	H30年度に改善した点 H30年度新規事業につき、特になし 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 芝生化した園庭の管理の負担も大きいことから、県の補助事業を利用して維持管理をしていきたい。また、保育園は実施できる園が限られるため、今後は小学校の校庭等も芝生化できないか検討したい。	有	無
みどり自然課	実施計画ランク 重要 期間 H11年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例 事業の目的及び具体的な内容 公共公益施設を緑化し、街中のみどりを創出するため、公共施設に球根を配布し、施設管理者や利用者による施設緑化を進める。また、市民に花と緑に触れ合う機会を提供し、緑化の関心を高めるため、所沢駅前ペデストリアンデッキ・プランターに四季の花々を植え、維持管理を行う。	一般	H29予算現額 4,054千円 H29決算額 3,833千円 H30予算現額 2,581千円 H30決算額（見込み） 2,509千円 H29正規職員人件費 1.03 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 8,740千円 臨時職員 0.00 人 H30正規職員人件費 0.80 人 H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 6,704千円 臨時職員 0.00 人	項目名 ①ペデストリアンデッキ花の植え替え ②球根配布数 実績 ①3回 ②3,000個	指標名 球根配布施設数 H29年度目標 46 H29実績 46 H30年度目標 46 H30実績 46 R元年度目標 46	目標設定の考え方・根拠 地球温暖化対策の一つとして、球根を各施設に配布している。その施設数を指標としている。 H30目標値が未達成の理由・分析 目標達成済み	A	球根の配布施設数に変化は無いが、球根の配布数は、前年より250玉増加で配布ができた。 評価者 みどり自然課長　奥村　稔	H30年度に改善した点 球根配布施設に対し、事前にヒアリングを行い配布数を確認したことで、各施設の状況に応じた配布を行うことができ、前年より多くの球根を配布することができた。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 毎年、球根を配布する事で事業を終了している。 植栽した作品をコンテスト形式で表彰する等、緑化を進めながらも楽しめる等工夫が必要である。	有	無
みどり自然課	実施計画ランク 最優先 期間 H30年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 － 事業の目的及び具体的な内容 保全したみどりや水辺の主軸である河川等を相互に結びつける散策路を中心とした整備を推進し、ところざわサクラタウン、中心市街地、狭山丘陵を拠点として連携させることで、市域全体の魅力向上を目指すため、本計画を令和元年度に策定するものである。	一般	H29予算現額 0千円 H29決算額 0千円 H30予算現額 0千円 H30決算額（見込み） 0千円 H29正規職員人件費 0.00 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 0千円 臨時職員 0.00 人 H30正規職員人件費 0.55 人 H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 4,609千円 臨時職員 0.00 人	項目名 ①関係部署の調整会議開催回数 ②計画策定業務委託仕様書の作成 実績 ①1回 ②1件	指標名 関係部署の調整会議開催回数 H29年度目標 — H29実績 — H30年度目標 1回 H30実績 1回 R元年度目標 2回	目標設定の考え方・根拠 水とみどりがつくるネットワーク計画は、「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点プロジェクトに位置づけられていることから、関係部署の調整が重要であり会議の開催回数を指標として設定した。 H30目標値が未達成の理由・分析 目標達成済み	A	全庁的な計画となることから計画策定に関係する部署を幅広くとらえ、水とみどりがつくるネットワークに盛り込める事業の情報収集と調整を行い、会議の準備ができた。 評価者 みどり自然課長　奥村　稔	H30年度に改善した点 H30年度新規事業につき、特になし 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 当該計画を策定し、ところざわサクラタウン、中心市街地、狭山丘陵を拠点として連携させることで、市域全体の魅力向上を目指す。令和元年度は、みどりや河川等を相互に結びつける散策路マップを作成し、市民への周知を図っていく。	有	無

第6章　環境・自然 第2節　みどりの保全・公園の整備

所属名称	事務事業名称	事業概要（全体）	経費 会計	経費 投入コスト	成果 活動実績（H30）	成果 成果指標	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど 総合評価	評価 理由	現状の課題	環境影響 有益なもの	環境影響 有害なもの
公園課	実施計画ランク 最優先 期間 S61年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 都市計画法・都市公園法・都市緑地法 事業の目的及び具体的な内容 武蔵野の平地林を活用し、市民が自然観察や散策の場など身近な自然とふれあう環境の保全と整備を行う。	一般	H29予算現額 83,491千円 H29決算額 82,911千円 H30予算現額 78,202千円 H30決算額（見込み） 76,830千円 H29正規職員人件費 1.50 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 12,728千円 臨時職員 H30正規職員人件費 1.30 人 H30その他職員従事割合 非常勤特別職 10,894千円 臨時職員	項目名 ①用地購入 ② ③ 実績 ①2,999.17㎡ ② ③	指標名 取得済用地面積 H29年度目標 23.34ha H29実績 23.34ha H30年度目標 23.64ha H30実績 23.64ha R元年度目標 29.57ha 目標設定の考え方・根拠 事業の進捗を図るためには、用地確保が最重要となることから用地取得面積を目標値としている。 取得面積/用地取得面積25.4ha(H33年度目標) H30目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	A	目標値を達している。 評価者 公園課長　市村　浩昭	H30年度に改善した点 本公園内に新たに設置したキャンプ場・炊事場の利用が開始された。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 用地取得については、交渉など非常に難しい状況となっているが、土地所有者へ丁寧な説明を行い、継続していく。 施設整備については、令和3年度完成に向け、未取得用地上には施設を配置しないよう計画を見直す。	有	無
公園課	実施計画ランク 期間 H27年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 マチごとエコタウン所沢構想 事業の目的及び具体的な内容 マチごとエコタウン推進基金を活用し、マチごとエコタウン所沢構想の趣旨に沿って市が管理する公園灯に関してLED化を図ることにより市域における温室効果ガスの削減及び公園灯に係る消費電力の抑制、維持管理費用の削減が見込まれることから実施する。	一般	H29予算現額 24,217千円 H29決算額 15,563千円 H30予算現額 0千円 H30決算額（見込み） 0千円 H29正規職員人件費 0.45 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 3,818千円 臨時職員 H30正規職員人件費 0.50 人 H30その他職員従事割合 非常勤特別職 4,190千円 臨時職員	項目名 ①LED化した公園数 ②LED化した公園灯数 ③ 実績 ①33公園2緑地 ②88灯 ③	指標名 公園灯LED化公園数 H29年度目標 20公園2緑地 H29実績 20公園2緑地 H30年度目標 33公園2緑地 H30実績 33公園2緑地 R元年度目標 42公園2緑地 目標設定の考え方・根拠 温室効果ガスの削減、消費電力の抑制、維持管理費用の削減のため、LED化した公園数を目標値としている。 公園灯LED化公園数164公園(令和2年度目標) H30目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	A	目標値を達している。 評価者 公園課長　市村　浩昭	H30年度に改善した点 特になし 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 年度計画に基づき事業を実施しているが、公園灯の老朽化が進んでいる公園も多いことから、設備の状況なども考慮し、効率的・効果的に事業を実施し、令和2年度に全公園のLED化を目指す。また、事業効果を早期に発現させるため、各年度において早期の工事発注に努める必要がある。	有	無
公園課	実施計画ランク 優先 期間 H30～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 都市計画法・都市公園法 事業の目的及び具体的な内容 公園不足地の解消を進めるため、地域住民のレクリエーション、コミュニティの拠点となるべく、新たな公園整備を実施する。	一般	H29予算現額 0千円 H29決算額 0千円 H30予算現額 7,071千円 H30決算額（見込み） 6,803千円 H29正規職員人件費 0.00 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0千円 臨時職員 H30正規職員人件費 0.70 人 H30その他職員従事割合 非常勤特別職 5,866千円 臨時職員	項目名 ①用地取得 ② ③ 実績 ①0㎡ ② ③	指標名 取得済用地面積 H29年度目標 – H29実績 – H30年度目標 1.76ha H30実績 0ha R元年度目標 1.76ha 目標設定の考え方・根拠 新たなコミュニティの拠点となる公園整備を行うためには、用地確保が必要となることから用地取得面積を目標とした。 H30目標値が未達成の理由・分析 地権者との用地購入費について、合意に至らなかったため、予定地買取ができなかった。	C	公園築造に必要な用地取得が出来なかったため。 評価者 公園課長　市村　浩昭	H30年度に改善した点 特になし 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 引き続き、地権者との丁寧な交渉を行い、早期取得に努める。	有	無
みどり自然課	実施計画ランク 優先 期間 H18年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市緑の基金条例 事業の目的及び具体的な内容 本市のブランドである豊かなみどりの保全に対する市民の理解と意識の向上を図るため、「みどりのふれあいウォーク」を開催する。また、イベントの際に緑の募金運動を実施し、市民から寄附金を募る。さらに、夏場の省エネ対策として「みどりのカーテン」を市民に広く実施してもらうため、朝顔とゴーヤの種子袋を配布するとともに、みどりのカーテンコンテストを開催する。	一般	H29予算現額 3,772千円 H29決算額 3,059千円 H30予算現額 2,767千円 H30決算額（見込み） 2,643千円 H29正規職員人件費 1.63 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 臨時職員 13,831千円 0.00 人 H30正規職員人件費 1.40 人 H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 臨時職員 11,732千円 0.00 人	項目名 ①みどりのカーテンコンテスト応募数 ②啓発用種子袋の配布数 ③みどりのふれあいウォーク参加人数 実績 ①39件 ②7,500袋 ③1,624名	指標名 みどりのふれあいウォーク参加人数 H29年度目標 3900 H29実績 1767 H30年度目標 3900 H30実績 1624 R元年度目標 2000 目標設定の考え方・根拠 ふるさとみどりの啓発事業の中で、最も大きく、又、市内住民のみならず、近隣市民も参加する一大イベントとなっているため、参加人数を指標とする。なお、令和元年度以降は、実情に即し毎年2,000人を目標とすることとした。 H30目標値が未達成の理由・分析 イベント当日の天気予想が悪かったため。	B	みどりのふれあいウォークとしてのイベント自体については、一定の評価を得る事は出来ているが、参加人数は減少傾向にある。 イベントコースの大幅な修正等を考えていく必要もある。 評価者 みどり自然課長　奥村　稔	H30年度に改善した点 昨年、スタート地点にて初めてマルシェを開催した。今年度も規模を拡大しマルシェを開催した。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 同時開催のマルシェも一定の評価を頂いているが、まだ周知不足の様なので、マルシェの周知に少し力を入れる。	有	無

第6章　環境・自然 第2節　みどりの保全・公園の整備

所属名称	事務事業名称	事業概要（全体）	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト			活動実績（H30）	成果指標			総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
みどり自然課	実施計画ランク 重要	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	一般	H29予算現額 5,153千円	H29決算額 3,474千円		項目名 ①活動講座の開催 ②パートナー登録団体数 ③みどりのパートナー活動補助金	指標名 みどりのパートナー登録者数		目標設定の考え方・根拠 みどりのパートナー登録者数を増やし、みどりの保全及び創出を推進する事が当事業の目的となっているため登録者数を指標とする。 目標値としては、前年より増やすことを目標としたい。	A	パートナー登録者数としては、目標値を達成している。 パートナーの基礎能力を高めるため、初級・中級・里山講師派遣の講座の開催を行った。受講者から高評価を頂いた事もあり、平成30年度に初級講座を、令和元年度に中級講座を開催する。	H30年度に改善した点 H27年度～H29年度にかけて実施した、初級・中級・里山講師派遣講座が高評価を得たことから、未受講者を対象にH30年度は初級講座を実施した。	有	無
	みどりのパートナー活動推進事業	根拠法令　ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例 所沢市みどりのパートナー活動実施要綱、所沢市みどりのパートナー活動支援事業補助金交付要綱		H30予算現額 6,808千円	H30決算額（見込み） 5,502千円										
		事業の目的及び具体的な内容 当市のみどりをより豊かにする市民活動を推進するため、みどりの保全及び緑化の推進に関して自発的かつ実践的な活動を行う個人又は団体を「みどりのパートナー」として登録し、このパートナーに対して情報の提供や緑化資材の助成等、育成・支援等を行う。		H29正規職員人件費 0.99 人 8,400千円	H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 臨時職員 0.00 人		実績 ①4回 ②51団体 ③3,501千円	H29年度目標 1000	H29実績 1368	H30目標値が未達成の理由・分析 目標達成済み			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 登録者数としては達成はしている。しかし、パートナーが高齢化しており、活動が危うい団体も出現してきている。今後の講習では、スムースな世代交代問題も取り上げ、参加者にも協議してもらう。		
	期間 H24年度～			H30正規職員人件費 0.80 人 6,704千円	H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 臨時職員 0.00 人			H30年度目標 1000	H30実績 1400			評価者 みどり自然課長　奥村　稔			
								R元年度目標 1395							